

＼ 東京学芸大学附属国際中等教育学校 /

第10回 公開研究会 (2次案内)

概念的理解を志向した授業デザイン

ー 知識の構造化から活用・転移へー

東京都教育委員会、練馬区教育委員会 後援

急速な社会環境の変化で将来の予測が一層困難になりつつある現代、まだ見ぬ新たな課題に対応する力を獲得するためには、個別の知識や事実をただ追うのではなく、様々な場面に共通する本質を見抜き、異なる状況へと応用しうる形で物事を体系的に理解することー概念的理解ーが重要だと言われています。では、学んだ知識はどのように活用され、概念的理解へと深まり、そしていかにして新たな状況へ生かされていくのでしょうか。学びの転移を起こす授業の在り方を皆様と共に考えてきたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<校長> 雨宮 真一

スケジュール

8:30	9:00	10:25	10:40	11:30	11:45	12:35	12:50	13:40	13:50	15:20	15:35	17:00
受付	基調発表 講演会	公開授業Ⅰ	公開授業Ⅱ	昼食 休憩	生徒ポスター 発表	協議会	SSH×IB 情報交換会					

基調発表

概念的理解を志向した授業デザイン ー知識の構造化から活用・転移へー

本校では、IB校として教育実践を積み重ねる中で、概念的理解を重視した授業づくりの重要性が共有されつつあります。一方で、「何をもって概念的理解が形成されたか」と捉えるのか、その形成や深まりをどのように見取り、検証するのかについては、さらなる整理が必要です。

そこで今年度は、概念的理解を、知識を相互に関連付けて構造化し、それを意味のある形で活用し、さらに新しい状況へとつなげていく学びとして捉えます。その表れを、

①知識の構造化を理解する、②意味のある形で学びを使う、③新しい状況につなげる

という三つの視点から整理し、それぞれに焦点を当てた単元設計と授業実践を進めています。

今年度の公開研究会では、これら三つの視点に基づく公開授業と研究協議を通して、生徒のどのような姿に概念的理解が表れるのか、また、その理解を促す授業デザインとはどのようなものかを検討します。知識の構造化から活用、そして転移へとつながる授業のあり方について、参加者の皆様とともに考えを深めていきたいと考えています。

(本校研究部)

講演会



石井英真 教授

京都大学 大学院教育学研究科

概念的理解の形成を意図した授業づくり

ー「わかる」「使える」学力をどう見取り、どう深めるかー

京都大学大学院教育学研究科 教授。博士(教育学)。専門は教育方法学、教育評価論、カリキュラム論。日米のカリキュラム研究や授業研究を基盤に、学校で育成すべき資質・能力の構造化や、それを実現するためのカリキュラム・授業・評価のあり方について、理論と実践の両面から研究されている。また、小・中・高等学校の教育現場と連携し、授業改善を軸とした学校改革にも取り組まれている。

11.21

土

9:00-17:00 (予定)

会場

東京学芸大学附属国際中等教育学校

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-22-1

☎ 03-5905-1326 ✉ kenkyu@tguiss.jp

<https://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp>



公開授業・協議会

各教科の公開授業と授業者、授業で焦点を当てる概念的理解とその類型を紹介します。
研究協議会では、各教科のテーマに基づいて協議を深めます。

知識の構造を理解する

国語

公開授業Ⅰ
「対話」とは何か
「対話」は、個人や個人と社会または世界との関係の中で新たな価値を創出する
＜4年 現代の国語＞ 小川 一美

公開授業Ⅱ
証言と文学—アレクシエーヴィチ『戦争は女の顔をしていない』を通して—
文学は、語りの視点とスタイルによって過去を表象し、読者の歴史に対する認識を形成する
＜6年 DP文学＞ 高松 美紀

協議会
「分からなさ」を設定することで立ち上がる概念的理解
—解体と再構築を通して—
助言者： 千田 洋幸 教授 [東京学芸大学]

意味のある形で学びを使う

保健体育

公開授業Ⅱ
タグラグビー —状況に応じた「意味のある作戦」を実践しよう—
空間の生まれ方や攻撃や守備の原則は、刻一刻と変化するゲーム状況やチームの課題に適応して、作戦を選択・修正して実践するための根拠となる
＜1年 保健体育＞ 白波 湧太

協議会
生徒がゲームの状況に応じて学びを活用する球技の授業づくり
—ゲーム構造の理解や概念的理解の形成に着目して—
助言者： 今井 茂樹 教授 [山梨学院短期大学]

意味のある形で学びを使う

数学

公開授業Ⅰ
関数の和のグラフはどうなる？
システムを構成要素の組み合わせ（形式）として捉える新たな視点は、その表現に隠されたパターンを明らかにする
＜3年 数学＞ 本田 千春

公開授業Ⅱ
重さと、その感じ方の関係性は？
現実事象の変化から作られたモデルをもとに、変数の和と積に着目して関係性を見出せることがある
＜4年 SS数学Ⅰ＞ 菅原 幹雄

協議会
「意味のある形で学びを使う」ための数学授業デザイン
助言者： 西村 圭一 教授 [東京学芸大学教職大学院]

新しい状況につなげる

外国語

公開授業Ⅰ
学校行事を様々な場面に合わせて紹介しよう
場面によって情報の伝え方を適切に選ぶ技能は、受け手に効果的に情報を伝えるための土台となる
＜1年 英語Core＞ 後藤 碧水

公開授業Ⅱ
紙面ディベートでつなぐ英コミュ×論・表
効果的なコミュニケーションには、情報を関連付け、根拠を用い、自分の考えを見直す必要がある
＜6年 英語コミュニケーションIII Basic＞ 久保 達郎

協議会
外国語（英語）科における概念的理解
助言者： 高山 芳樹 教授 [東京学芸大学教職大学院]

知識の構造を理解する

地歴公民

公開授業Ⅰ
国民国家と近代化
「国民国家」の形成や「国民意識」の醸成が、国家における「近代化」や「近代社会」を特徴づける
＜6年 DP歴史＞ 久保田 真人

公開授業Ⅱ
探究主題の検討と深化
市場は、資源を効率的に配分する体系として機能する一方、その単純化されたモデルが捉えきれない失敗を通じて格差を生むため、公正な発展には社会的な調整が必要となる
＜4年 公共＞ 長谷川 智大

協議会
概念的理解を構築し、理解の深化を促す授業に向けて
助言者： 山本 勝治 准教授 [開智国際大学]

意味のある形で学びを使う

デザイン

公開授業Ⅰ
3DCADで製品に込められた工夫を読み解こう
製品には、使用する人と製品との関係を踏まえ、形や強度、使いやすさなど相互に関連する要素を、目的や条件に応じて調整した問題解決の工夫が込められている
＜1年 技術＞ 小池 望央

協議会
情報技術を活用した技術科における
「意味のある形で学びを使う」ための授業デザイン
助言者： 渡津 光司 准教授 [宮城教育大学]

意味のある形で学びを使う

理科

公開授業Ⅰ
宇宙から地球を見る
あらゆる事象は環境・時間・場所をはじめ、様々な相互作用によって見方が変化する
＜3年 理科＞ 窪田 悠

公開授業Ⅱ
酸性雨による土壌の酸性化を抑えることに有効な手立てはなにか
酸と塩基の質的な性質と量的な関係を総合して捉えることで、化学反応による変化を制御し、実社会や環境の課題解決に応用できる
＜5年 SS化学基礎＞ 成川 和久

協議会
「意味のある形で学びを使う」ための理科授業デザイン
—見方の転換が生み出す授業づくりの変化—
助言者： 真井 克子 先生 [文部科学省初等中等教育局]

新しい状況につなげる

道徳

公開授業Ⅱ
その「協働」、次でも使える？
—自分の芯と集団生活をドウトク？—
学校行事や道徳の学習から自分らしさや周囲との関わり方を振り返ることは、これからのよりよい自分や集団を形成するための「協働の在り方」という視点を育む
＜1年 道徳＞ 嶽里永子・水本 肇

協議会
生徒が協働経験から得た価値観を新たな状況に転移する授業づくり
—道徳における概念的理解の形成に着目して—
助言者： 永田 繁雄 特命教授 [東京学芸大学]

生徒ポスター発表



SSH事業の一環として実施している希望制の研究活動「ISSチャレンジ」に参加する生徒による研究発表や、本校独自の学習領域である「国際教養」における取り組みをポスター形式で本校生徒が紹介します。「ISSチャレンジ」では、生徒が自ら問いを立て、調査・研究を進める中で得た成果や考察、そこに至るまでの探究の過程を発表します。「国際教養」では、ワークキャンプをはじめとするさまざまな実践を通して、生徒が社会や世界と関わりながら学ぶ取り組みを紹介します。また、来場者との質疑応答や意見交換を通して、生徒自身が新たな視点や考えに触れる機会とします。

SSH×IB情報交換会



SSHにおける探究・研究活動を軸に、IBの学びとの接点や関わりについて情報交換を行います。本校のSSHの取り組みとIBの学びがどのように関わっているかを、具体的な実践を交えながら紹介します。その上で、SSHやIBという枠組みに限定せず、学校における探究活動について、さまざまな立場から実践や課題を共有します。SSHやIBの実施状況にかかわらず、各校での取り組みや関心を持ち寄り、幅広く情報交換できる場とする予定です。

ご連絡

- ・本研究会は教育関係者のみを対象としています。受験生、保護者の方とはご参加いただけません。
- ・お弁当のご用意はありません。昼食をご準備ください。
- ・校内は土足ですので、上履きは不要です。
- ・駐車スペースはございませんので、お車でのご来校はご遠慮ください。

アクセス

- ▶ 電車
西武池袋線「大泉学園駅」徒歩8分
- ▶ バス
西武バス・関東バス「学芸大附属前」

お申込み

当日参加も可能ですが、資料準備の関係上、Webサイトからの事前のお申し込みにご協力ください。

参加費

- 一般教育関係者： 1000円
- 学生/練馬区教職員： 500円
- 本学教職員： 無料

Peatixより 事前に
お支払いください

11.15 (日) まで

